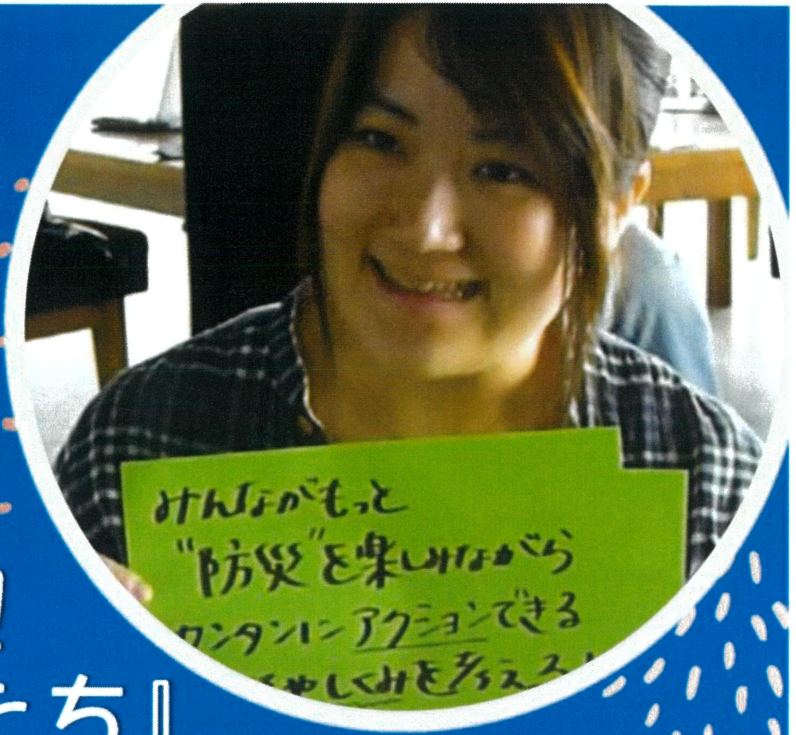


ほろろ Joy! KOMINKAN!
学び・楽しみ・つながりあーつた!

家族で

ほろろ BO-SAI
ワークショップ
プライベート

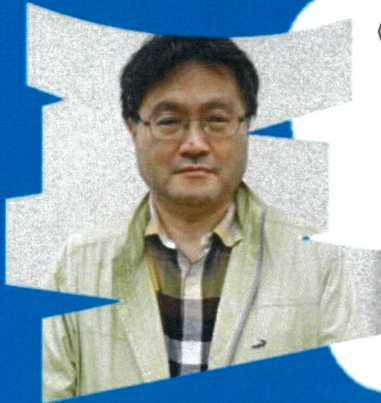


映画

『防災やりたい！ 彼女たち』

(2015年/日本/97分)

「防災ガール」を知っていますか？ 災害時に女性は「弱者」となりやすい。若い女性中心の防災ガールが開発したグッズは、女性が使いやすく、しかもオシャレ！ 少人数でもその場ですぐできるHINAN KUNRENなど、女性と共に災害弱者となる子どもや高齢者にも役立つアイデア満載。東日本大震災、阪神淡路大震災、新潟県中越地震で被災したメンバーはリアルに体験談を語る。この作品は、職場や学校の防災学習や男女共同参画推進イベントに活用できる「生きた教科書」でもある。



《映画監督》岡崎 孝 (Okazaki Takashi)

山形国際ドキュメンタリー映画祭2011の東日本大震災復興支援プロジェクトで上映された「私たちにできたこと できなかったこと」がデビュー作。震災直後、被災地でもあり、隣県の被災者を受け入れる立場でもあった山形市で、震災関連の看板や貼り紙など「人」以外の物だけを撮り、逆に当時の人々の心を描いた。今回上映する「防災やりたい！彼女たち」(同映画祭311ドキュメンタリーフィルムアーカイブ登録作品)は、渋谷 BOSAI Fes'(2015年、東京都渋谷区主催)や山形市男女共同参画センター・ファアラの市民企画講座「映画で学ぶ女性目線の防災」(2018年)で上映された。最新作は、東北人の歴史や知恵が震災やコロナ禍の二重苦に向き合う原動力になり得ることを訴える「東北の力 文化の力」(2022年)。主な著述は長文エッセー『3・11』後、映像作家にできること(責任編集・東北芸術工科大学東北文化研究センター)など。山形市芸術文化協会会員、山形市在住。

画像提供:映画「防災やりたい！彼女たち」より

7/8 (土)

① 10時00分～12時37分

② 13時30分～15時07分 + トーク会

★②のみ、NPO 法人あなたらしくをサポート(らしーく)メンバーと映画や防災についてのトーク会あり。

らしーくマスコット
らしーく



【定員】各回 30名 【参加料】無料

【申込み】6月1日(木) 10時から電話・FAX・HP・右記2次元コード・直接来館からお申込みできます。

【一時保育】1歳半以上就学前の幼児対象。1人350円。講座開催日の10日前までに要申込み。

【協力】NPO 法人あなたらしくをサポート(らしーく)



ご来館に際してのお願い

- ・体調不良の症状がある方は、ご来館をご遠慮ください。咳エチケットをお守りください。
- ・講座開始1時間前に伊丹市に各種気象警報が発令されている場合は、中止となります。当日公民館HPの新着情報、お電話等でご確認ください。
- ☆講座の参加について介助等の配慮が必要な方はお気軽にご相談ください。

Instagram はじめました!

フォロー
お願いします
伊丹市立中央公民館

